



TSUNAGI 5

つなぎ議会だより

MAY

つなぎ議会だより

2020.5

コロナに負けない!



令和元年7月第38回熊日城南地区学童軟式野球大会優勝! 津奈木クラブ

発行: 熊本県津奈木町議会
編集: 議会広報委員会

〒869-5692 熊本県津奈木町小津奈木2123
☎0966-785351

印刷: 旭印刷株式会社

インタビュー

夢つなぎ人



プロフィール
坂口信行 (さかぐちのぶゆき)
昭和45年12月1日生 49才
平成30年会社設立
(株) アグリ津奈木代表取締役
坂口優弥 (さかぐちゆうや)
平成7年4月25日生 24才
小さくて強い産業づくり会議
プロジェクトメンバー

上下門地区で農業法人を経営し、スマート農業に挑戦する、坂口親子にうかがいました。

スマート農業で津奈木に貢献
津奈木のドローンで農業サポートに挑む!

農業を始めたきっかけは?

20代の頃は、JAあしきたの職員として働き、30才の時、米づくり、また、もみすりを営んでいる家業を継ぎました。

どんな作業をしていますか。

主力は米づくりです。JAと役場の勧めで大根とホオズキにもチャレンジしています。受託作業も力を入れていて、田植、稲刈、もみすりなどを行なっています。また、時期ごとにヘリコプターでの農薬散布も受けています。その他にも、親子で、JA青壮年部に所属して仲間と楽しく活動しています。



今後の展開は?

苦労する割には所得が低く、安定しない農業も多いです。そして雇農や後継者不足で耕作放棄地も増えつつあり、農畜害も大変で、農業への魅力がうすれつつあります。私たちも一農家として、少しでも作業をサポートできないかと思いましたが、今までヘリでの農薬散布は、場所が悪かったり、住宅が近い所は作業が困難でした。そこで町の補助事業でドローンを導入しました。田んぼの除草散布も可能で、将来はミカンやサラタマの栽培にも利用できるようにしたいと思います。若手農家からのイメージアップをねらい、スマート農業への第一歩を目指します。

町議会へひびく。

町のキャッチフレーズは、緑と彫刻の町ですが、雑草のまちにしないことと、若手農家や農業女子(アグリガール)も増えるようお願いします。



編集後記

中国での新型コロナウイルスの発生により世界に拡散された影響で、各国はパニックに陥り対応に追われている。我が国でも爆発的な感染はどうか防いでいても、瀬戸際の状況が続くままさまざまなイベントや行事が中止になり人々への接触が制限される中、経済の低迷と医療機関の崩壊を避ける対策が進められている。

さまざまな組織、機関、自治体などは、これまでの経験と調査を踏まえ、早急に対策を立てているが、日に日に状況が変わり問題も山積している。

何が妥当で何が失敗か初めて出くわす見えない敵に、どう立ち向かうのか未来の事は誰にもわからない。ただ、皆様の生活と命をつなげるために、一人ひとりが自覚し、よく考え、協力し合い、この危機を乗り越えなくてはならない。

議会広報委員

委員長	本山 真吾
副委員長	宮崎 弘行
委員	橋口知恵子
" "	澤井 隼代
上村 勝法	

みなさんの声を議会だよりに!

新企画「まちびとツイート」! 始めます(^^)

- ♪まちびとツイート♪
- P 2・3 平成2年度当初予算審議
 - P 4・5 進む! 平国小学校跡地利活用事業
 - P 6・7 改善センターが大幅改修
 - P 8・9 各常任委員会による審議
 - P 10~13 一般質問 4議員が町政を問う!
 - P 16 インタビュー 夢つなぎ人

令和2年度当初予算総額 51億4300万円

一般会計 31億3500万円

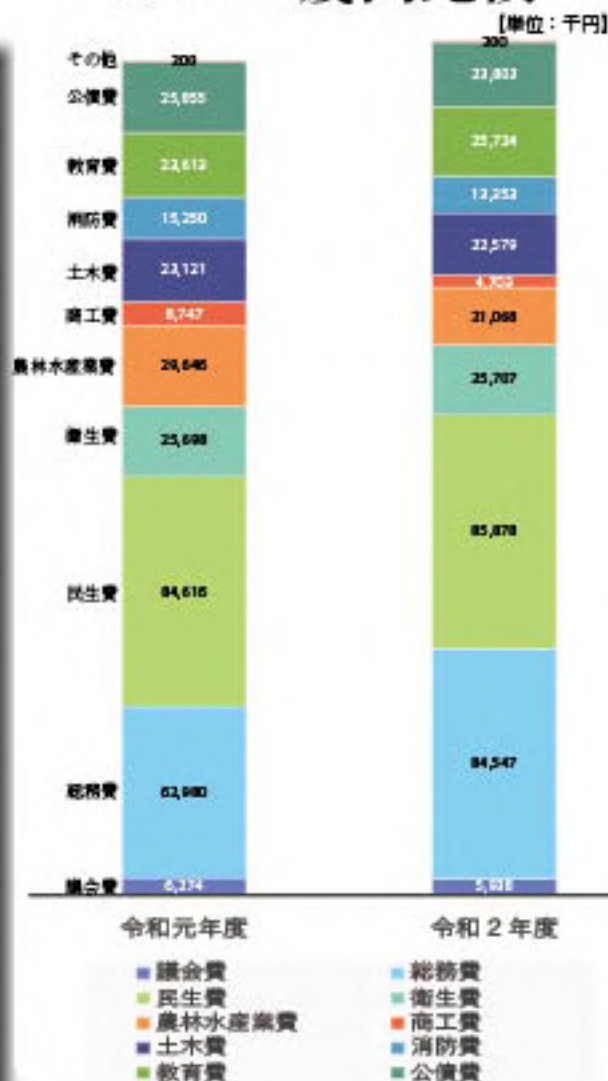
可決!

令和2年
第1回
定例会

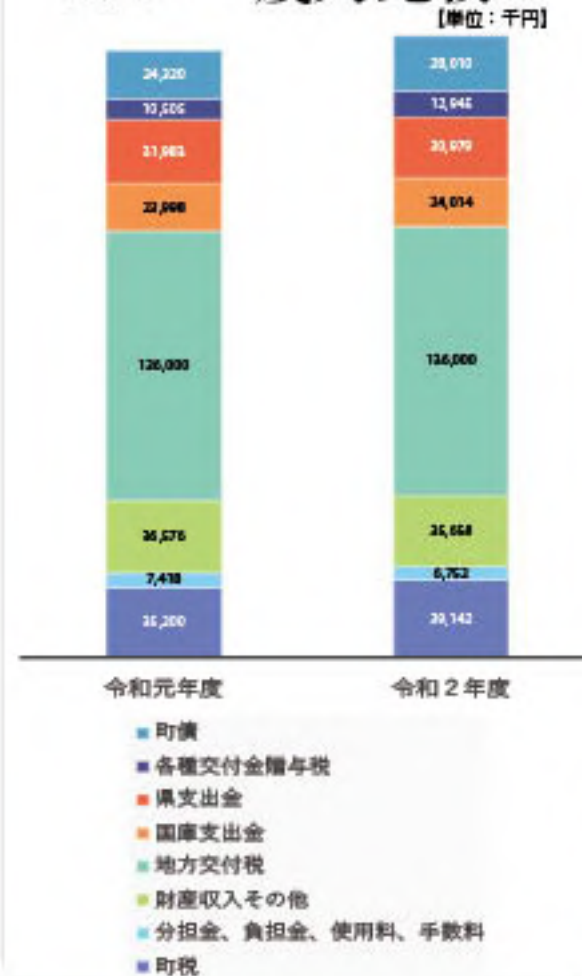
主要施策から抜粋

旧平国小学校外部改修事業	55,319 千円
平国小学校跡地利活用事業	66,000 千円
小さくて強い産業づくり事業	34,306 千円
つなぎ美術館モノレール車両更新事業	34,816 千円
住民参画型アートプロジェクト	15,904 千円
漁船エンジンオーバーホール事業補助金	1,000 千円
漁村センター外部改修事業	17,416 千円
人間ドッグ助成事業	12,000 千円
健康センター調理室他改修事業	85,000 千円

前年との歳出比較



前年との歳入比較



一般会計
予算は
前年度より

7500万円の増額

3月議会の

あらまし

令和2年第1回定例会が、3月3日から19日までの17日間の会期にわたり開催されました。3日令和元年度補正予算・災害弔慰金の支給等に関する条例等11議案が審議された後、山田豊隆町長が施政方針を演説しました。

しました。また一般質問に4人の議員が町政を止しました。最終日、各委員長による審議報告があり、合計22議案が、全て原案どおり可決されました。

一般会計・特別会計の内訳

単位：千円

	令和2年度	令和元年度	増減
(全体)	5,143,000	5,141,000	2,000
一般会計	3,135,000	3,060,000	75,000
特別会計	2,008,000	2,081,000	△ 73,000
うち、国民健康保険	1,011,000	946,000	65,000
後期高齢者医療事業	88,000	80,000	8,000
簡易水道事業	98,000	276,000	△ 178,000
介護保険事業	775,000	743,000	32,000
恒久対策事業	16,000	16,000	0
宅地造成事業	20,000	20,000	0

予算・貯金・借金の状況は



やっと平国小の利活用が決まり、うれしく思います。このままどんどん発展していけばいいですね。



平国下区長
鬼塚賢造さん

オイスターバルを始め
3年が経ちました！
もお客さんがふえ
らしいなと思います。
津奈木のおいしいカキ
平国小で味わっても
いいですね！



津奈木漁協
宮山徹さん

町の子ども
と一緒に
プシタリ
たらいい
スケート
とかでき
ないな。



津奈木小 5年
淵田カノンさん

外部補修と合わせて 約1億2000万円を承認！

地域活性化と 新たな産業振興企業誘致に期待

廃校となった平国小学校跡地の利活用が決定した。同小学校は平成28年3月、1875年に津南分校として創立以来140年の歴史に、幕を閉じることとなったが、役場は閉校後の利活用についてアンケートを実施し、住民からの意見を聴取した経緯がある。残念ながら、その時点では住民からの強い要望はなく利活用方法は行政の判断に委ねることになっていた。

今回の実施計画では、低学年棟をアトリ工併設の交流・体験広場に整備する。つなぎ美術館のレジデンスプログラム等で活用できるアトリ機能を持たせることで、アートプロジェクト

や観光体験プログラムと連携した交流事業を推進する。あわせてトイレや休憩スペースを確保する。また、令和3年度には、木育広場として整備し、町内事業者が製作する木製遊具等を配置予定。あわせてトイレも整備する。（令和3年度予算3300万円程度を想定）



利活用 事業の令和2年度予算は6600万円、財源は県支出金5850万円、一般財源は750万円としている。

事業 にもとない、老朽等の改修が必要となり、別途5500万円が要求通り可決された。

さらに、今年度から町の経済の発展、産業の振興及び雇用機会の拡大を図るため、サテライトオフィス支援事業補助金や企業立地促進補助金を新たに創設し県と連携しながら積極的に企業誘致に取り組む予定であり、平国小学校のリニューアルは有効な手段と考えられる。

議会 は3月3日全員協議会を開催した。担当課からの説明を受けたあと、議員からは現在「津奈木漁協が、つな

ぎオイスターバルを営業し、町内外の利用者から好評を得ているが、今後は相乗効果が生まれるよう、漁協・参加メンバーとの話し合いを進めていく必要がある。」「町道宇戸永田線からの進入路が狭いため、早期の拡張や舗装の整備、また駐車場の整備や景観の保護維持も考えるべき。」「運動公園としての機能をどうするか。」など、問題もかなり山積をしていると活発な意見が出された。

今後 も議会は、地域住民の意見等聞き入れながら、地域の活性化につながるよう、平国小学校利活用事業を役場と共に後押しします。

平国小学校跡地利活用イメージ図

津奈木町政策企画課

●コンセプト

県内外から多くの人が訪れるエリア造成のための拠点施設
＜施設機能＞ 企業誘致 雇用創出 産業振興 観光誘致 交流促進

サテライトオフィススペース

4社程度の受入が可能なサテライトオフィススペースとして活用（入居者への補助金で対応）

産業振興スペース

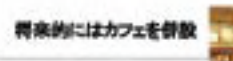
農林水産物の振興や地場企業の第二創業のインキュベーション施設として活用（入居者への補助金で対応）



教室でのアボカド苗木生産、小規模農産物工場での農産物野菜収穫など農業振興



輸出用の和室や農産物を扱った木のおもちゃ製作など産業振興



将来的にはカフェを併設



本プロジェクトの展開方針
地方創生事業やアートプロジェクト、津奈木小学校跡地利活用事業と連携して展開することで、より大きな成果を担っていく

改善センターを大幅改修! 調理室を一新

健康センターを併設するため改修工事を行なう
農業就業改善センター



「食」を通じて健康と
コミュニケーションを

令和2 年 第1 回定例会において当初予算内最大金額8500万円の改善センター調理室の改修に伴う、健康センター調理室他改修事業の予算が承認された。

改善 センターは昭和54年農業者の生活の改善を目的として建設された。

経年 劣化による施設、何らかの改修工事があったが、最近では平成27年度に社会福祉協議会の業務の増大によって事務室等の増設が行われた。改善センターは時代とともに多様化する福祉、または生活基盤のより所として機能を進化させてきた経緯がある。

今回 の大幅な改修工事の内容は、築40年以上経過し老朽化している調理室を利用者の意見を取り入れて、近代的で清潔な調理環境施設及びコミュニケーションの取りやすいランチルームを増設し、さらに和室や機能訓練室等の改修を行うこととしている。充当する予算については、国民健康保険基金約7億円の一部を取り崩し充当される。

昨年 の第一回定例会において当初予算で約6500万円の承認が得られていたが、その後利用する町民の意見を取り入れたところ、計画していた図面通りには不備があると言った結果となり、また議会においても、委員会・全員協議会等で、設計を担当する振興課整備班担当者などから説明を受け、どのような経緯で設計を行うのか、利用する住民

の要望は十分に取り入れている設計となっているのかなど、数回にわたって説明を求めた。今回の補正予算で工事費を取り下げ、健康センターは什切り直しとなり、より使いやすい調理室を設置することによって、今後の町のイベント行事や、食事を通じた町民の健康意識の高揚などを目的とした使用が期待される。

また、本町で力を入れている安心・安全な農作物を使用した「つなぎFARM料理教室」なども充実し行われる予定だ。

工をするべきだとの意見が多数を占めた。今後、「健康センター」は、その名の通り保険事業・健康づくり事業の中心的な役割を担い、町民の健康を食の面から支える施設へと大きく変わることを期待される。

このような意見を取り入れました

- ①調理室内に荷物を置くスペースがほしい。
- ②調理後、和室への導線が悪く、別にランチルームがほしい。
- ③調理台間のスペースを広くしてほしい。
- ④冷蔵庫・冷凍庫を新品にしてほしい。
- ⑤外側からの入口付近に下洗い用流し場を整備してほしい。
- ⑥ガスコンロ・炊飯器の位置は使い勝手が良いので現在の位置にしてほしい。

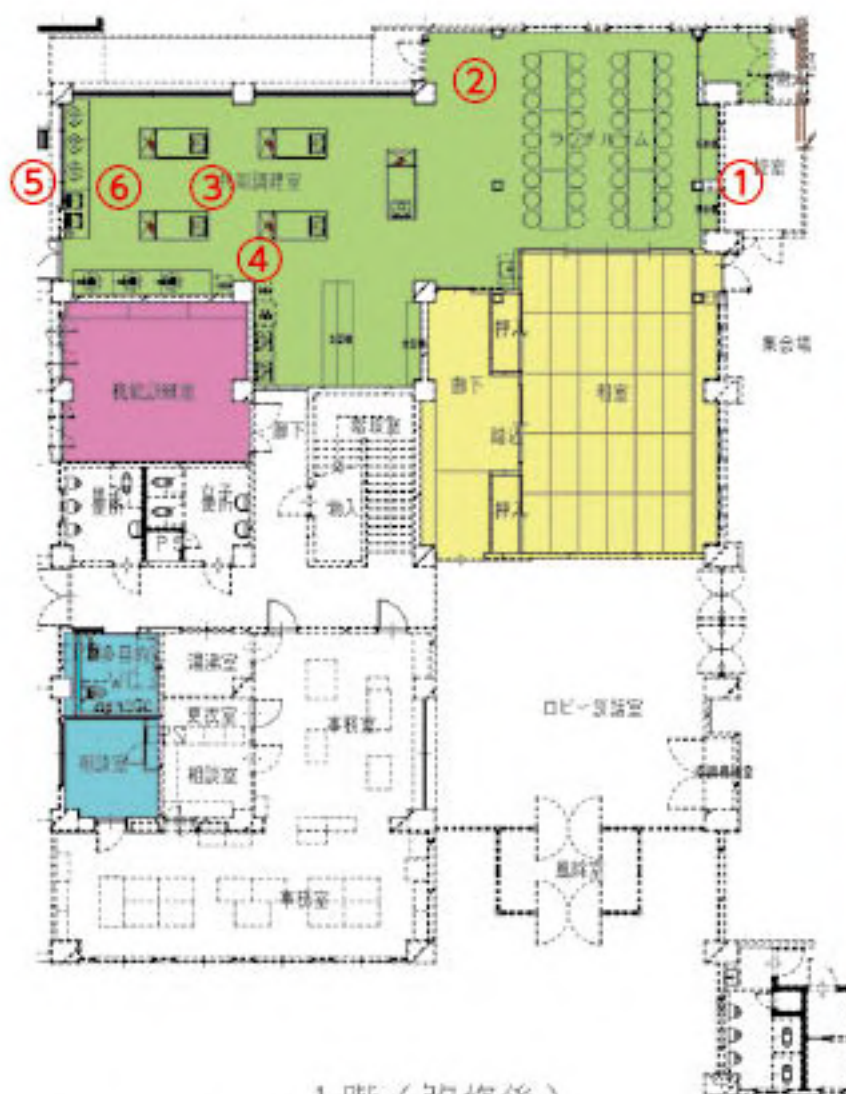
今回

の予算案でも、議会側から「完成はいつ頃なのか」との問いに対し、「今年度末に完成する予定である」との回答だったが、利用者からの一刻も早くと言う声もあり、年度が変わる早い段階で入札を行い、秋のふれあい祭りの準備には間に合うよう工事着

・健康センター調理室の利用頻度は?・

- 料理教室など 年間30回
スローフード料理教室、育児学級、パン教室など予定
- 炊き出しなど 年間約5回
高齢者給食サービス、ふれあい祭りなど

今回採用された健康センター平面図



1 階（改修後）

条例

委員会予算
など審議で
の主な質疑

- 津奈木町監査委員に関する条例の一部改正
- 津奈木町議会議員に対する議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部改正
- 津奈木町報酬及び費用弁償条例の一部改正
- 津奈木町営住宅管理条例の一部改正
- 津奈木町定住促進住宅管理条例の一部改正
- 消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

- 問** 旧平国小学校の外部改修は令和2年度工事で完了したか。
- 答** 校舎全棟の外壁工事と、屋根部分の防水シートの上塗り工事、高学年棟の屋根取替を行う予定。
- 問** 校舎内に企業が入る場合は、どの課が管理するのか。
- 答** 設置条例の目的を担当する課が管理する。
- 問** 平国小学校跡地利用について地域住民と共有しながら進めるのか。
- 答** 工事に入る前に地元住民へ説明を行い、地元の要望を踏まえて整備



- 問** 地域商社の設立でつなぎ百貨堂との関係は。
- 答** 地域商社の設立は、町内の事業者、生産者を巻き込み魅力的な商品や資源をブランド化し、地域外の販売を強化することが目的で、つなぎ百貨堂の機能を向上させ地域商社を確立していく。

- 問** 小さくて強い産業づくり事業の成果は？
- 答** 新商品サービスの販売額が1200万円の目標に対し1330万円の実績で、つなぎオイスターバルでの売り上げ等が貢献。起業・業務拡大件数が2か年で5件の目標に対して6件で、日本酒の高品質化に向けた業務拡大、アボカドハウスの整備、農作業受託事業の法人化、オイスターバル経営、海産加工所と野菜生産者グループの創業である。新規雇用は、常用雇用と期間雇用で10人の雇用。目標未達成は、物産館の売上目標のみ。
- 問** 橋梁長寿命化修繕事業で研修に行くが、資格は今年度取得できるのか。
- 答** 6月と9月に開催で2人が参加予定である。研修後は、定期点検を実施でき点検委託料が軽減される。大きな傷等は専門業者に委託する。

条例

委員会予算
など審議で
の主な質疑

- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
- 津奈木町介護保険条例の一部改正

- 問** 固定資産税4047万円の増額理由は。
- 答** 九州新幹線の償却資産に係るもので、税額は総務大臣が価格を決定し、各市町村に通知することになっている。
- 問** 滞納繰越額は、固定資産税でいくらある

- 答** 初めに督促状や催告書を送付し、滞納者には随時連絡を取り、納税方法や納税額を確認する。特に生活困窮者には、執行停止で3年間様子を見極めながら徴収を行っている。
- 問** 資源ごみ収集業務委託料では、費用対効果と雇用されている臨時職員はどうなるのか。
- 答** 会計年度任用職員の制度に伴い、民間業者へ委託することにした。これまでの臨時職員の人数と比較すると140万円ほど高くなるが、生ごみ収集と同様、祝日も可能となるため、住民は便利になると思われる。臨時職員3人には3月までと伝えた。
- 問** 地域見守り活動推進事業は、社会福祉協



- 問** 児童クラブの職員と児童は何人か。また利用時間はどのくらいなのか。
- 答** 嘱託・臨時職員合わせて6人で、登録児童数は28人である。現在
- 問** 国保人間ドック補助の対象者が30歳以上に変更されたが、総合検診と併せ受信者数は増えたのか。
- 答** 国保人間ドックと総合検診を合わせた受

- 問** 文化センター改修工事の本年度の概要と全体計画は。
- 答** 事業費は約1億5000万円を見込んでいます。主な改修箇所は、屋根、外壁、トイレ、空調設備など予定している。
- 問** 健康センター調理室他改修工事で、11月着工となっているが、年度内完成するよう早められないのか。
- 答** 振興課や関係団体と協議して早期着工を行いたい。
- 問** 国保の基金は現在どれくらいか。
- 答** 約7億497万円あり、令和元年度1300万円ほど取り崩す見込みである。
- 問** 納付金の保険基金安定負担金は、どのような負担金か。
- 答** 保険料軽減分で、県が4分の3、町が4分の1を負担する。



農業振興はどうするのか

本山 真吾 議員

農地集積化基盤整備はどのように進めるのか

問 昨年9月議会でも取り上げたが、芦北町では15ha、水俣市でも6haの大規模基盤整備事業が計画されている。本町の用地集積化基盤整備はどのように考えているのか。政策実現のためにはどのようにすべきなのか。

答 農家の意見を聞き入れるべく昨年の12月に農業委員会と認定農業者の意見交換会を開催した。樹園地の立地条件の悪さと高齢化により耕作放棄地が増加している状況や、基盤整備事業については地権者との調整の難しさが報告された。今後も農業委員会、農政担当、農業関係者との意見交換会については、できるだけ実施をしていきたい。基盤整備については、農業の担い手確保と、農業者と行政及び関係機関等との話し合いがとても重要であると認識している。農業者自身の自発的にやっていく姿勢には大いに賛成し協力していくが、特に若手農家の方の意欲が重要になってくる。今後も柑橘を中心とする一大産地としての地位を維持していけるよう支援を行う。

倉谷工業団地を農業振興利用できないか

問 倉谷地区の工業団地を施設農業団地にはできないか。

答 倉谷工業団地は農村地域工業導入促進法に基づいて、平成元年度に実施計画を策定し平成2年度に用地取得や造成を行い、山林や樹園地だったところを工業用地に変更した。現状は3.5haの総面積のうち1.7haが工業用地として現在分譲可能で

ある。

農業振興に活用には、倉谷地区の農村地域工業等導入実施計画を変更していくという作業が必要で、町の審議会にかけ、次に関係法令に基づいて県と協議し、同意を得て国に報告をしていくことになる。また倉谷工業団地に通じる町道日野越線は企業立地関連基盤整備事業補助金を受け実施しており、補助金を使った事業でもあるので、協議が必要となり可能ではあるが、かなり厳しいと考える。

町では今後も工業団地として現状維持し、企業誘致のためにPRしていきたい。

農家にもトイレ休憩施設を

問 基盤整備事業の先進地では、農業準備休憩施設と称してトイレや休憩施設を建設している。本町にも農家の福利厚生の一環として、また観光の目玉として設置はできないのか。

答 効果的な基盤整備と担い手の農業安定化、農作業環境の充実を図るために、国の補助事業を活用してトイレを含めた農作業準備休憩施設を整備することができるが、補助事業の対象となるには一定の条件が必要となり、また維持管理するためには要項を定めて、適切に維持管理する費用も必要となるので単独での設置は難しい。



子ども医療費の窓口支払いをゼロに！

橋口 知恵子 議員



子ども医療費の窓口支払い方法を改善すべき！

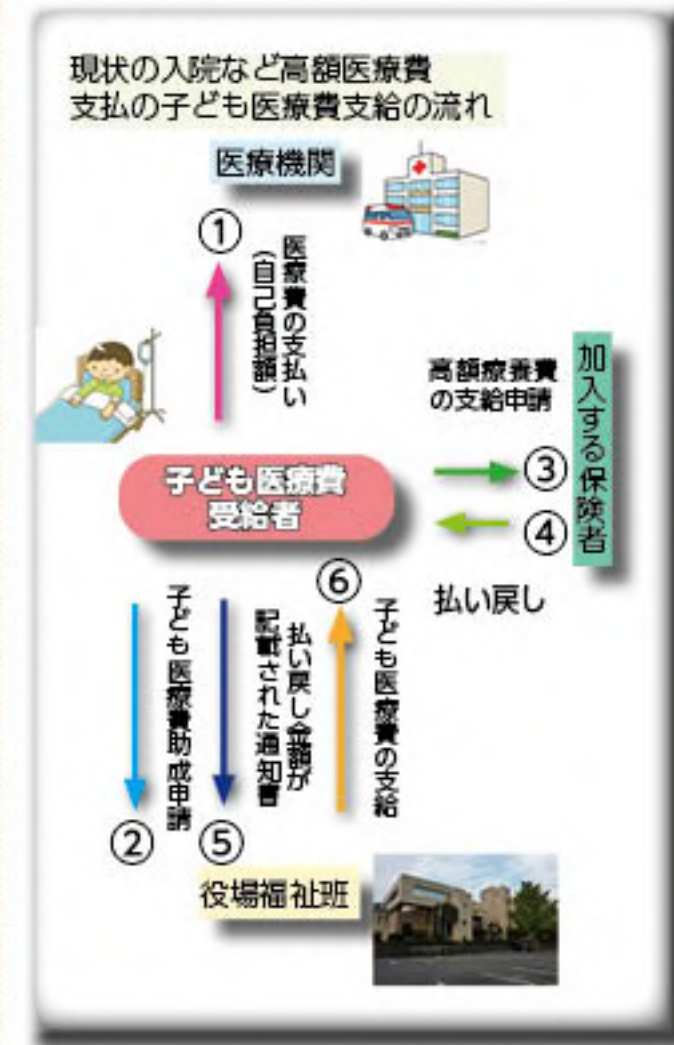
問 子ども医療費助成制度は、子どもが病気やけがで病院や薬局を利用した時、医療費の一部負担金の全額を助成することで、子育て世代の経済的負担を軽減する事業であり、早期受診により病気の重症化を予防している。

現在、芦北水俣管内の病院に外来で通院した場合は、窓口での支払いはないが、入院など高額医療に該当した場合、及び芦北水俣管外の病院に外来で通院した場合は、窓口支払いをしなければならない。支払金額が大きいと負担も大きくなるため、経済的負担の軽減につながるようにさらに改善すべきではないか。

答 子ども医療費助成事業は、平成30年度から対象年齢を高校生まで引き上げ子どもの疾病の早期発見を促進し、その健康保持及び健全な育成と子育て支援を行っている。

現状の支払い方法は、水俣芦北管内の医療機関の外来は現物給付で医療機関から直接町に申請がされる。医療機関は、請求先の市町村を確認し請求するという事務が発生するため、一部の医療機関では引き受けてもらっていない状況もある。入院した場合や芦北水俣管外の医療機関を受診した場合は、医療費を支払った後に保護者が町に申請を行う。入院等で高額医療費になった場合は、保険者から高額医療費の払い戻しや加入保険によっては付加給付の制度があり、自己負担額のうち高額療養費限度額を超えた場合、申請で超えた分が後から支給されている。付加給付の支給はレセプト点検の関係で2、3カ月かかり保険者から保護者に支払われる。保護者が支

払った自己負担額から高額療養費及び付加給付額を除いた額が子ども医療費の助成の対象で、保護者の負担軽減のため高額医療費の払い戻しや付加給付の制度の手続きを行っている。医療保険者にできるだけ早く支払いができるように要請していきたい。入院することが分かった時には限度額適用認定証の交付の活用を進めていきたい。水俣芦北管外の医療機関を受診した場合は窓口支払い、償還払いになるが、主要な医療機関や本町の子どもが多く受診している医療機関等には相談をしていきたい。





現状回避から将来展望へ

宮嶋 弘行 議員

少子化による保育園・幼稚園の運営方針は？

問 平成30年に検討委員会を立ち上げ、令和元年5月に保護者によるアンケート調査と経緯について。

答 検討委員会より令和元年12月に保護者説明会を行っている。令和2年検討委員会において、答申書を提出し、今後の少子化により町立保育園としての現状と、施設の老朽化に伴い将来的に運営するには民営化へ移管せざるを得ない。ただし、多くの課題が残るため、町としても積極的な支援と保育行政への取り組みが必要である。

問 保育園の民営化に向けては、準備期間が必要なので、いつから行うのか。

答 検討委員会の答申に沿って、令和2年度から検討していきたい。

問 津奈木幼稚園の現状と園児数は何名か。

答 昭和49年度に開園し、昭和62年度に現在地へ移転。最高時の園児数は、昭和54・55年度に102名在籍していたが、平成25年度より17名となり、減少傾向となっている。現在は13名の在籍で、新年度の園児数は9名の予定である。

問 今後、園児数が増える要素として厳しいと思われるが、幼稚園にかかる運営費等はいくらか。

答 職員が園長・教諭・食卓職員の5名で、運営費として昨年度1,773万円程となっている。
※町の財政による経常収支比率が平成30年度決算で89%となっている。町財政運営上、保育園・幼稚園共に同様の検討が必要であると問いかけている。

問 認定こども園とは、どういう制度なのか。

答 幼稚園と保育園の両方を併せ持っている施設で、両方の機能と認定基準を満たす施設は都道府県等から認定を受けられる。内閣府の管轄で、教育内容等については、国の方針に基づいて両方とも同等の教育が行われる。建物及び附属設備は同一敷地が前提となる。町が設置した場合は、国の補助制度はないが、民間事業者での整備費用に関しては国1/2・町1/4・事業者1/4の割合で交付される。

問 保育園と幼稚園を幼保連携の「認定こども園」へと検討すべきでは。

答 民営化への取り組みと同時に「認定こども園」も考えていきたい。

町の重点施策による展望は！？

問 山田町政の重点施策で、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略と第7次水俣北地域振興計画の中での観光振興事業について。

答 町の交流拠点化構想の推進を掲げ、観光施設群一体の魅力アップの基本構想策定と、宿泊施設などハード整備をメイン事業とする。インパウンド事業等も取り入れ、戦略的な情報発信を行う。

問 観光振興で滞留・滞在時間には宿泊施設等の整備が必要と思われるが、現在の進捗状況は。

答 本年度から簡易宿泊研修棟の運用と、令和2年度は定住促進のための簡易宿泊・おためし暮らし体験・農業体験ツアーの運用を図る。交流拠点化構想の推進として、つなぎ温泉四季彩周遊施設一体の魅力アップの中で令和3年度から整備を進めていきたい。又、空き家バンクの利用促進と民間宿泊施設等の支援も検討する。

旧平国小は どう活用するのか

村上 義廣 議員



利活用事業の全容は

問 令和2年度当初予算で、旧平国小の校舎建物について、外部改修事業と跡地利活用事業が計上されているが、工事内容の説明を求める。

答 総務課で管理をしている建物の外部改修工事については、管理特別教室、管理普通教室、普通教室、特別教室の4棟で構成されているが、老朽化しているので今後の利活用を考え、屋根と外壁の改修を行うものである。

屋根の改修内容は、普通教室棟と特別教室棟の三角屋根すべての改修と、他は、防水シートを貼ってある上に、塗料による防水工事を行う。外壁改修は、全面に渡りひび割れ、モルタルの浮き、黒ずみ等が見受けられるので、補修洗浄をして吹き付け塗装を行う。

屋根改修面積が約1400㎡、工事費が約1800万円、外壁の改修面積が2700㎡、工事費が約3700万円、合計約5500万円で改修予定である。

工事の施工時期は、梅雨明けを予定している。

答 政策企画課の跡地利活用事業は、環境首都水俣北地域創造施設整備事業の採択を受けて実施するものである。

令和2年度の事業は、1階の職員室や保健室、集会場は低学年棟を観光体験プログラムなどが実施できる交流体験広場として整備をする。

整備にあたり、つなぎ美術館で行っている作家の滞在型の制作作業にも利活用できるアトリエ機能を持たせるものとして考えている。合わせて既存のトイレ改修も行う。

事業実施にあたっては、事前の地元説明会も早々に開催をし、皆さんの意見も聞きながら進めていきたい。

駐車場はどうするのか？

問 校舎周りの整備も必要と思うが、プールを撤去して駐車場にする計画はないのか。

答 駐車スペースは、本年度予算でプール周りに砂利等を入れて20台ほどの駐車場を確保する。プールを撤去して駐車場にすることに關しては、撤去費用も相当発生するので、臨時的な駐車場を整備して、今後撤去するのか考えていきたい。

進入路の拡幅工事をすべき

問 旧平国小へ通じる道路について、改良の考えはないのか。

答 旧平国小へ通じる町道宇戸永田線は、オイスターバルを利用される方々からも、途中で離合ができないという話もあり、拡幅等の要望も寄せられている。

政策企画課としては、町の振興計画に掲載して必要な予算を確保し、拡幅等の改良を行う必要があるのではと考えている。



道路幅が狭く離合しにくい
旧平国小進入路

議会のうごき

【3月】

2日 水俣芦北地域振興財団理事会

3日～19日 第1回議会定例会

6日 議会運営委員会

23日 広域行政事務組合議会定例会

【4月】

15日 総務振興常任委員会

15日 教育住民常任委員会

15日 議会改革特別委員会

【5月予定】

20日 総務振興常任委員会

20日 教育住民常任委員会

20日 議会改革特別委員会



議会を傍聴 してみませんか

町政を知るためにぜひ傍聴してください。

手続きは簡単で、役場3階の議会傍聴席入口の受付簿に記入していただくだけです。

次回の定例会は6月17日から6月18日までの予定です。

■問い合わせ

議会事務局 0966-78-5351

議会だより

津奈木町議会便り次
回8月1日発行予定。

- ・委員会の活動
- ・一般質問
- ・特集
- ・議会改革の状況



新企画

議会だよりで「さえずろう」

あなたも

まちびとツイート

でつぶやきませんか！

「まちびとツイート」ってな～に？

突然ですが、Twitter「ツイッター」って聞いたことありますか？ツイッターとはスマートフォンやパソコンなどを使って「つぶやく」事です。ツイッターの中でつぶやくことを「ツイート」と言います。そして「ツイート」とは小鳥のさえずりとか、つぶやきの意味があります。もっと議会を身近に感じてもらいたい思いからこの企画を立ち上げました。

「こんなことが困ってるんだけど」、「嬉しいことがあったよ」、「私はこう思う」など、日頃生活の中で思っていることを議会だよりの中でつぶやいてみてください。つぶやきを50文字から100文字程度に議員がまとめ、写真入りで議会だよりに掲載させていただきます。気軽に議会議員に声をかけてみてください。

よろしくお願いします。

